

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6月 16日

栃木県知事 福田 富一 殿

提出者

住 所 埼玉県さいたま市大宮区錦町397-2

大宮設備総合事務所7F

氏 名 ユニオン建設株式会社 大宮支店

取締役支店長 齋藤 博志

電話番号 048-662-9573

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物  
処理計画の実施状況を報告します。

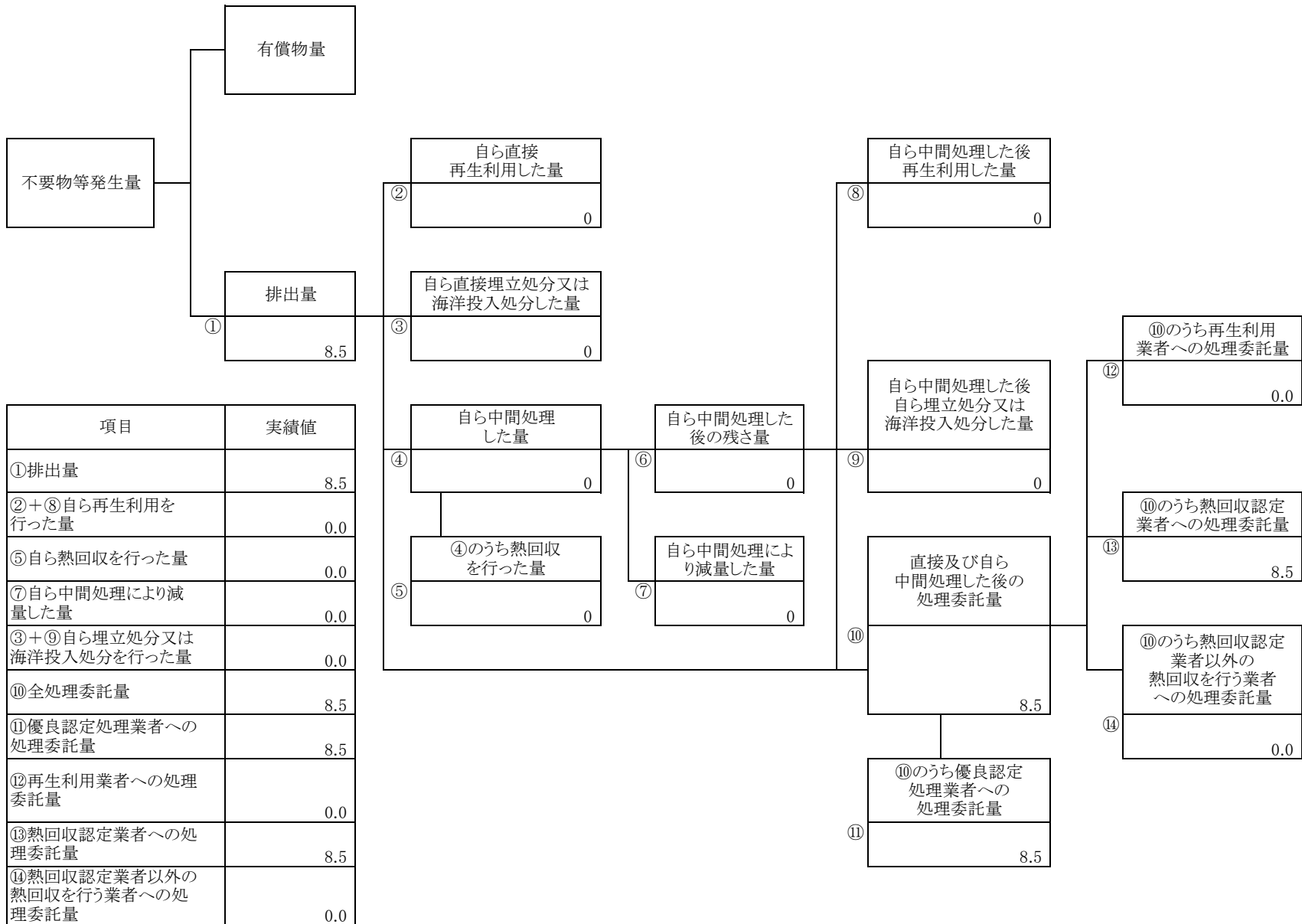
事業場の名称	ユニオン建設株式会社 大宮支店 小山出張所
事業場の所在地	栃木県小山市城山町 3丁目3番地25号
事業の種類	特定建設業 総合工事業 一般土木建築工事
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,127.8 t	全処理委託量	1,127.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,127.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	739.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	85.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

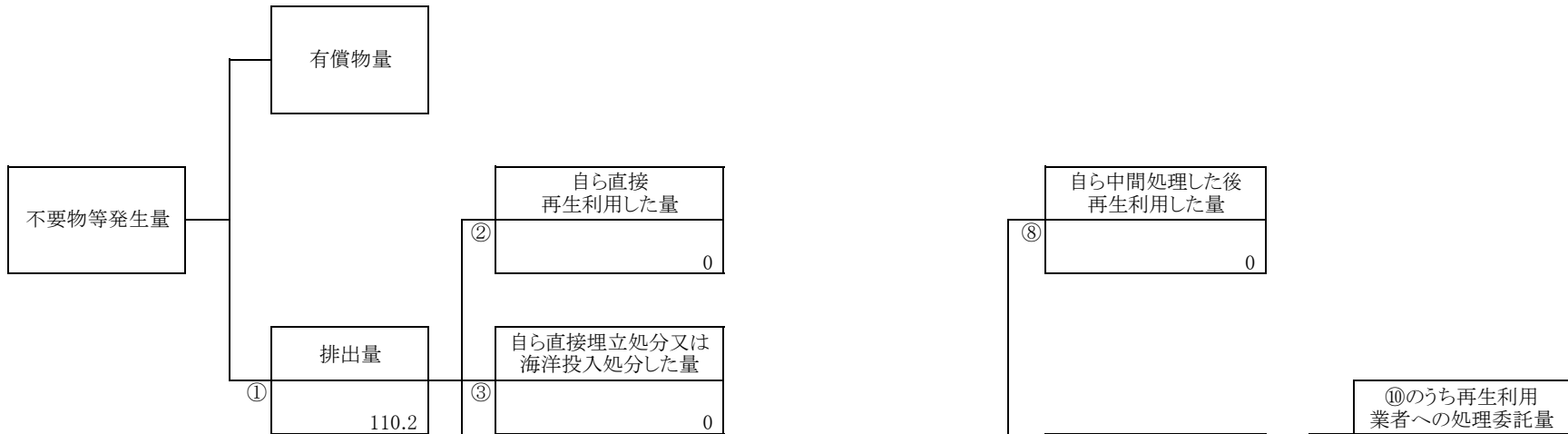
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	8.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	8.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	8.5
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

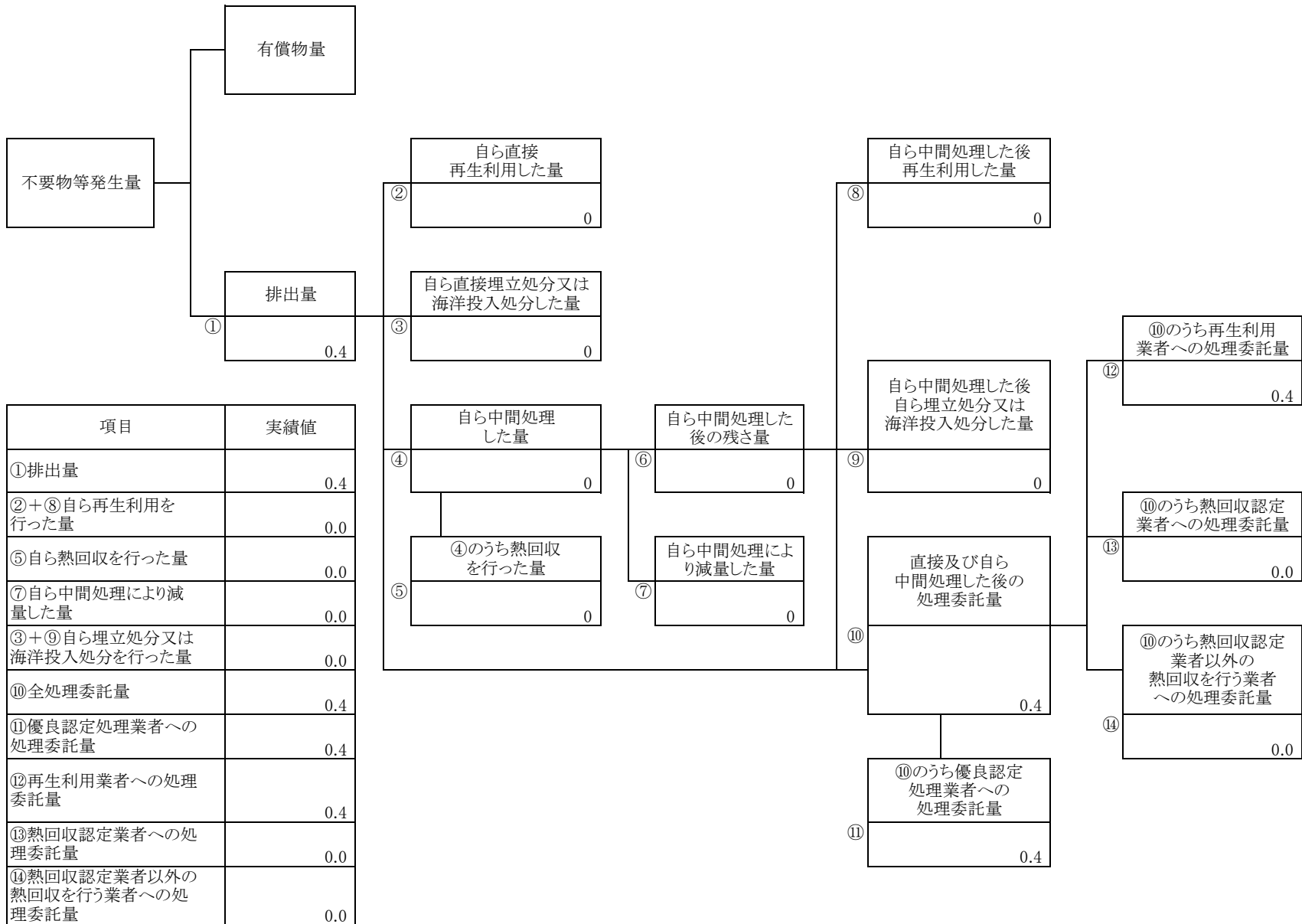
(産業廃棄物の種類: 木くず )



項目	実績値
①排出量	110.2
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	110.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	92.4
⑫再生利用業者への処理委託量	110.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

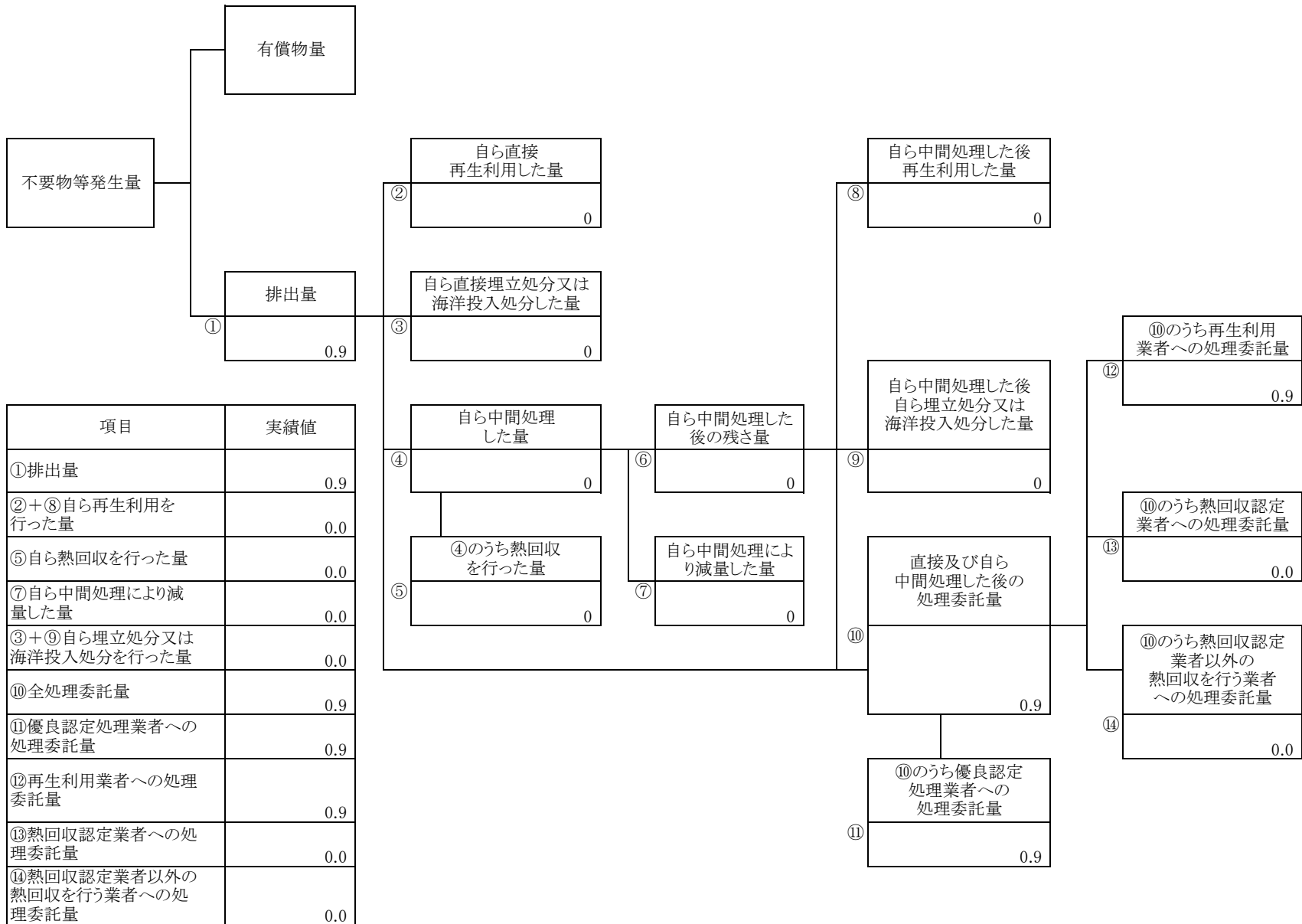
(産業廃棄物の種類: 金属くず )



項目	実績値
①排出量	0.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

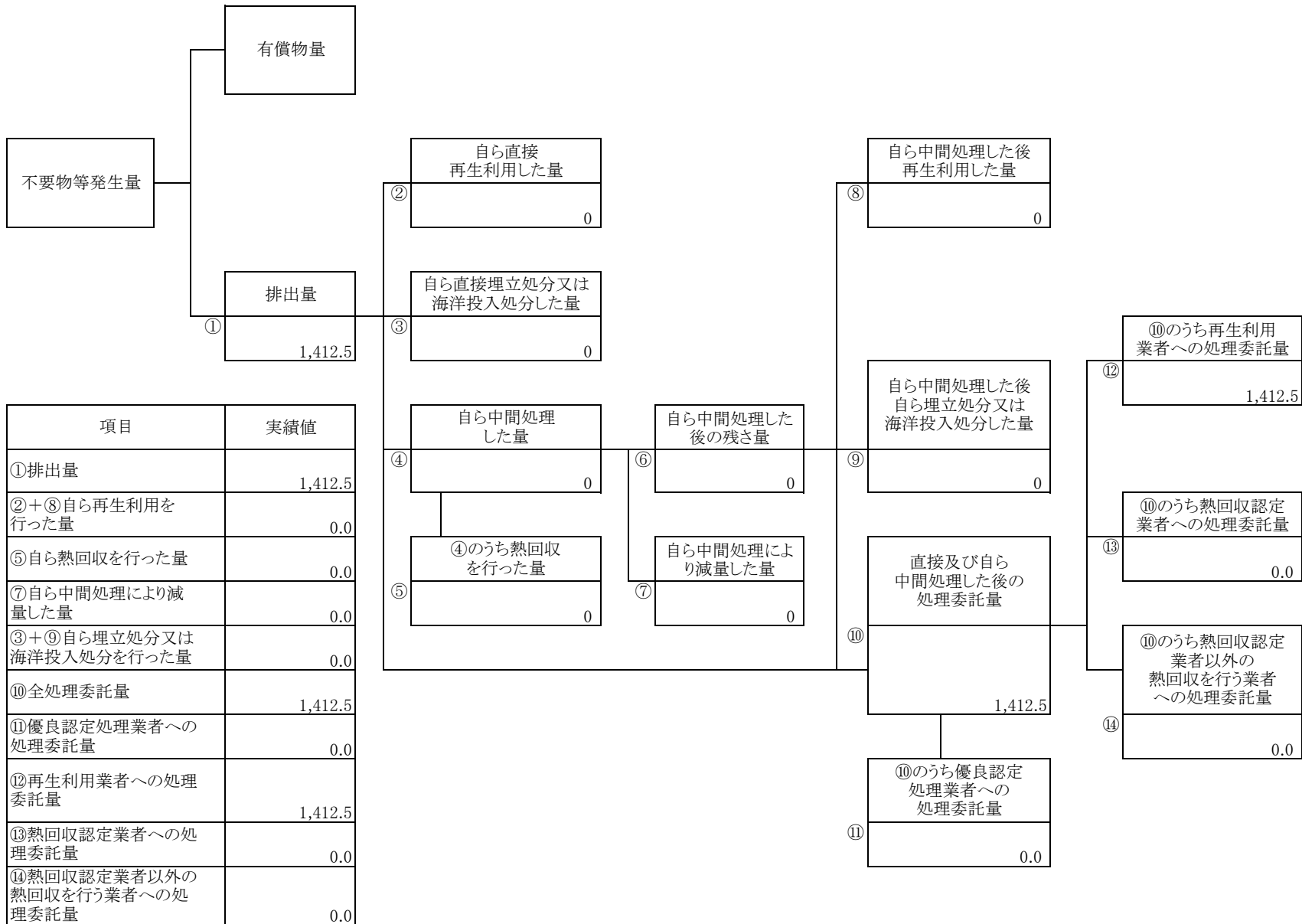
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

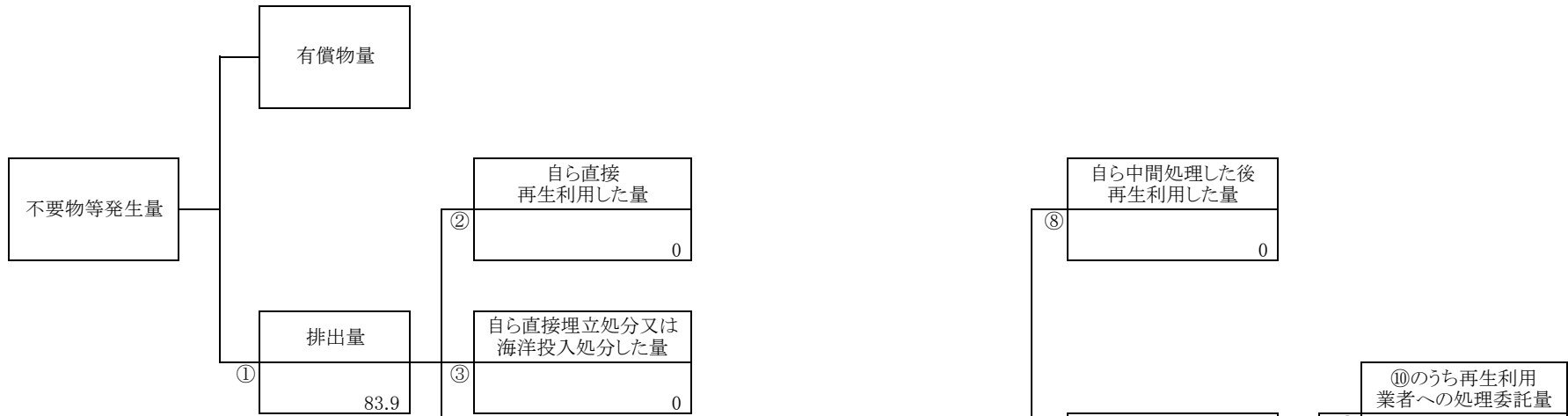


項目	実績値
①排出量	1,412.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,412.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,412.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設系混合廃棄物)

)管理型



項目	実績値
①排出量	83.9
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	83.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.9
⑫再生利用業者への処理委託量	83.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。



産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の [ 集 計 用 シ ー ト ]

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯					⑫+⑬ 自ら再生利用 を行った量(t)	⑭+⑮ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)							
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量(t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量(t)	委 託 先 に よ る 区 分													
												⑫再生利用者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)			⑰優良認定処理業者 への処理委託量(t)						
前右 半角	「建設工事等から発生する主な建設系廃棄物の種類」コード参照	当該事業場において発生した産業廃棄物の種類ごとの量										⑰の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭を除く)	⑰の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑰の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑰の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑫～⑮を除く)	⑰の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑲の量と⑳の量を合計したもの(自動計算)	㉑の量と㉒の量を合計したもの(自動計算)						
100	燃え殻	0.0									0.0												0	0	
200	汚泥	0.0									0.0													0	0
300	廃油	0.0									0.0													0	0
400	廃酸	0.0									0.0													0	0
500	廃アルカリ	0.0									0.0													0	0
	廃プラスチック類	8.5	0	0	0	0	0	0	0	0	8.5	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	8.5	0	0				0	0	
	600 廃プラスチック類	8.5									8.5	0.0	8.5				8.5	0	0				0	0	
	2430 廃プラスチック類(石綿含有)	0.0									0.0							0	0				0	0	
700	紙くず	0.0									0.0													0	0
800	木くず	110.2									110.2	110.2					92.4							0	0
900	繊維くず	0.0									0.0													0	0
1200	金属くず	0.4									0.4	0.4					0.4							0	0
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0	0				0	0	
	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.9									0.9	0.9				0.0	0.9	0	0				0	0	
	1322 廃石膏ボード	0.0									0.0							0	0				0	0	
	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)	0.0									0.0							0	0				0	0	
	がれき類	1,412.5	0	0	0	0	0	0	0	0	1,412.5	1,412.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0				0	0	
	1500 その他のがれき類	1,181.4									1,181.4	1,181.4					0.0	0	0				0	0	
	1501 コンクリート塊	224.5									224.5	224.5					0.0	0	0				0	0	
	1502 アスファルト・コンクリート塊	6.6									6.6	6.6						0	0				0	0	
	2440 がれき類(石綿含有)	0.0									0.0	0.0						0	0				0	0	
	建設系混合廃棄物	83.9	0	0	0	0	0	0	0	0	83.9	83.9	0.0	0.0	0.0	0.0	83.9	0	0				0	0	
	2010 建設系混合廃棄物(安定型)	0.0									0.0	0.0						0	0				0	0	
	2020 建設系混合廃棄物(管理型)	83.9									83.9	83.9					83.9	0	0				0	0	
	2410 建設系混合廃棄物(石綿含有)	0.0									0.0	0.0						0	0				0	0	
	合計	1,616.4	0	0	0	0	0	0	0	0	1,616.4	1,607.9	8.5	0.0	0.0	0.0	186.1	0	0				0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。  
 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。